

人口動態について

(1) 人口ビジョン概要

人口ビジョン概要

人口推計及び人口動向を考慮し、今後本町が目指すべき将来の人口目標を、国や県の推計を勘案し以下のとおりとします。

人口目標 ▶ **令和42（2060）年 4,800人**

目標達成に向けた取り組み

① 社人研推計値 ▶ 人口 令和42（2060）年：3,128人

② 合計特殊出生率の上昇 目標値：令和 2（2020）年：1.95 R2国勢調査・・・1.67
令和 7（2025）年：2.03
令和12（2030）年：2.10 ※以降一定
人 口：令和42（2060）年：3,337人

③ 移動（純移動率）ゼロ（均衡）をめざして！
目標値 令和12（2030）年までに45歳未満（15～24歳を除く）の社会増減の差をゼロする。
※以降同条件
U I Jターン施策、居住する住民が健康で豊かに暮らせる施策 などの実施により
人 口：（2060）年：4,866人＋（社会経済動向の変化等による転入超過の誤差を想定）→ **4,800人**

(2) 人口推移

	第2期総合戦略						単位：人	
	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和42年 (2060年)
2015年国勢調査 9,217人	国勢調査					国勢調査		
社人研推計①	8,234	8,050	7,865	7,680	7,495	7,307	6,506	3,128
町人口ビジョン②	8,407	8,259	8,111	7,963	7,815	7,667	7,055	4,800
住民基本台帳③	8,740	8,564	8,334	8,070	7,859	7,636	-	-
国勢調査補正		▲500	▲500	▲500	▲500	▲500		
国勢調査水準推計④	8,250	8,064	7,834	7,570	7,359	7,136		
②-④	▲157	▲195	▲277	▲393	▲456	▲531		

※現行人口ビジョンは、2015年国勢調査をもとに推計を行っている。2020年国勢調査の確定値：8,250人

※国勢調査補正 2015調査9,217人、住民基本台帳9,820人 差603人

2020調査8,250人、住民基本台帳8,740人 差490人

※人口ビジョンのシミュレーション条件 ……合計特殊出生率2.1、転入転出の差0人

※社人研 ……国立社会保障・人口問題研究所

※基準日 10月1日 （※令和7年は9月1日現在）

第2期における人口推計は、令和42年度に4,800人と設定している。

令和6(2024)年の国勢調査補正後の推計人口は7,359人に対し、町人口ビジョンは、7,815人であり、目標人口に対し▲456人で推移している。

引き続き、継続した対策を行っていく必要がある。

(3) 人口動態（住民基本台帳による）

	年度	転入	出生	転出	死亡	社会増減人口	増減人口
	H17	243	62	332	197	△ 89	△ 224
	H18	245	51	377	201	△ 132	△ 282
	H19	198	55	303	222	△ 105	△ 272
	H20	203	53	342	201	△ 139	△ 287
	H21	229	59	271	218	△ 42	△ 201
	H22	208	52	259	216	△ 51	△ 215
	H23	233	45	287	211	△ 54	△ 220
	H24	278	53	372	210	△ 94	△ 251
	H25	261	45	330	221	△ 69	△ 245
	H26	239	41	346	224	△ 107	△ 290
第1期	H27	244	43	286	218	△ 42	△ 217
	H28	233	36	268	236	△ 35	△ 235
	H29	253	35	261	206	△ 8	△ 179
	H30	235	31	292	211	△ 57	△ 237
	H31	213	34	278	177	△ 65	△ 208
第2期	R2	224	30	261	184	△ 37	△ 191
	R3	191	25	272	175	△ 81	△ 231
	R4	218	31	280	222	△ 62	△ 253
	R5	219	19	243	199	△ 24	△ 204
	R6	218	19	279	194	△ 61	△ 236
H17～R6 平均値		229	41	297	207	△ 68	△ 234
H17～H26 平均値		234	52	322	212	△ 88	△ 249
第1期	平均値	236	36	277	210	△ 41	△ 215
第2期	平均値	214	25	267	195	△ 53	△ 223

令和6年度の増減人口は、▲236人（前年▲204人）、転入者と転出者の差である「社会増減」は▲61人（前年▲24人）と依然厳しい状況が続いている。

(4) 人口移動意識調査

住民窓口で行っている転入者、転出者双方のアンケート結果をまとめたところ、令和6年度に転入者が本町に住むにあたり魅力を感じる場所は、

第1位「住宅が確保できること」

第2位「子育て支援が充実していること」

第3位「雇用の場があること」

「農地が確保できること」

であった。

「住宅が確保できること」「農地が確保できること」は、例年上位に位置している。

一方、転出者が他の町に魅力を感じる場所については、

第1位「買い物が便利なこと」

第2位「雇用の場があること」

第3位「公共交通の利便性がよいこと」

と続き、例年ほぼ同様の結果となっている。

買い物、公共交通など、いずれも本町の大きな課題である。

【R6年度】

転入者が「本町に」住むにあたり魅力を感じる場所

(単位:件)

調査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	順位
1 子育て支援が充実していること	2				1				1	2	2	5	13	2
2 教育が充実していること													0	
3 医療が充実していること													0	
4 高齢者福祉施設が充実していること	1		1	1	1							1	5	
5 買物が便利なこと													0	
6 雇用の場があること	1			1	1	1				2	3	3	12	3
7 住宅が確保できること	5			3				1	1	2	1	3	16	1
8 農地が確保できること		1			1		1	1	1	1	2	4	12	3
9 地域のコミュニティ活動が盛なこと	1				2	1	2	1	1			3	11	5
10 公共交通の利便性がよいこと													0	
11 情報基盤が充実していること													0	
12 町の支援施策があること		1										1	2	
13 転入出の相談に乗ってくれる窓口があること		1							1			1	3	
14 空き家バンク制度が充実していること	1			1			1					2	5	
15 その他(自然が豊か、美味しい食材、人など)		2										7	9	
16 回答無し	1			1		3	1	2	1	2	2		13	
合計	12	5	1	7	6	5	5	5	6	9	10	30		

転出者が「他の町に」魅力を感じる場所

調査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	順位
1 子育て支援が充実していること				1		1		1				2	5	
2 教育が充実していること	1		2									2	5	
3 医療が充実していること		4			1		2				2	1	10	4
4 高齢者福祉施設が充実していること							1		1	1	2	1	6	5
5 買物が便利なこと	1	2	3	4	2	6	5	2	4	2	3	9	43	1
6 雇用の場があること	5	1	1			1	1	1	1	2	2	5	20	2
7 住宅が確保できること(子との同居含む)	1						1				1		3	
8 農地が確保できること					1	1						1	3	
9 地域のコミュニティ活動が盛なこと							1				1		2	
10 公共交通の利便性がよいこと	4	1			1	2					1	10	19	3
11 情報基盤が充実していること	1												1	
12 町の支援施策があること	1							1					2	
13 転入出の相談に乗ってくれる窓口があること	1											1	2	
14 空き家バンク制度が充実していること	1						1						2	
15 その他(婚姻・介護等)	1	1									1	2	5	
16 回答無し	2			1	2	2	1	3	2			3	16	
合計	19	9	6	6	7	13	13	8	8	5	13	37		